



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マキヤ

コード番号 9890 URL <https://www.makiya-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 早川 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理・財務部長 (氏名) 竹島 剛 TEL 0545-36-1000

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	53,724	3.7	1,357	△1.5	1,498	1.4	1,008	△9.6
2022年3月期第3四半期	51,825	-	1,378	-	1,478	-	1,115	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,059百万円 (△18.9%) 2022年3月期第3四半期 1,306百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	101.00	-
2022年3月期第3四半期	111.76	-

(注) 前第3四半期連結累計期間の各数値については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用した影響により、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	35,321	17,626	49.9	1,765.60
2022年3月期	32,169	16,717	52.0	1,674.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 17,626百万円 2022年3月期 16,717百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	7.50	-	7.50	15.00
2023年3月期	-	7.50	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,700	1.7	1,470	△12.5	1,640	△9.7	970	△27.1	97.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	10,540,200株	2022年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	556,908株	2022年3月期	556,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	9,983,345株	2022年3月期3Q	9,983,382株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、活動制限の緩和されたウィズコロナの時代となり、景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ情勢によるエネルギー価格・原材料価格の上昇や世界的な金融引き締めによる急速な円安等、依然として先行きの見え難い状況で推移しております。

当小売業界におきましては、消費者の物価上昇に対する「生活防衛志向」、同業態・異業態をはじめeコマースも含めた「競争の激化」、或いは「人口減少・高齢化」に伴う「可処分所得の減少」、人手不足や最低賃金の上昇による「人件費の高騰」、エネルギー価格の大幅な上昇（水道光熱費等）による「店舗運営コストの増加」など、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様の「毎日の生活」を、より豊かに、楽しく、健康で、快適にする、「より良い商品」を、「安心の価格（価値価格の安さ）」と「温かいサービス」でご提供し、社会に貢献する、「働き易い、高収益企業」になるという中長期基本方針の実現のため、中長期経営改革プロジェクト『MAP 3』（Makiya-group Advancing Profit 3）を編成し、経営改革目標数値の達成のために、①「作業改善」と「働き方」改革の推進、②品揃え・品質・価格・売り方・サービスの磨き上げ、③「ファーストチョイス」の推奨販売、④「欠品」撲滅・フェイスUP・ボリューム陳列、⑤「ロス額」削減と「仕入コスト」の改善を全力で推進し、経営基盤の強化と企業価値の向上に取り組んでおります。

「ロス額」の削減におきましては、食品等の「消費期限引きや廃棄」等の削減に積極的に取り組んでおり、ロス額は前年同期比で15.1%の削減を図っております。

当第3四半期連結会計期間においては、順次導入を進めているセミセルフレジを、エスポット藤枝店に導入し、導入店舗は計5店舗となりました。

また、高騰する水道光熱費の対策や、再生エネルギーの活用として、一部の店舗において太陽光パネルの設置の施行を開始し、うち2店舗を稼働するとともに、冷凍冷蔵ケースのLED照明化等も推進しております。

電子マネー（マキヤアプリ）機能付きの「マキヤポイントカード」につきましては、8月にLINEミニアプリ版をリリースし、デジタルネイティブ世代の新規会員の加入や、アプリ会員様への販促企画により、マキヤアプリの利用促進に寄与しております。また、お会計のレシートを電子レシートで受け取ることができる「スマートレシート」機能の利用者を増やすことにより、紙レシート発行によるコストの削減と環境資源の消費低減にも取り組んでおります。

なお、当第3四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
改 装	エスポット藤枝店 (静岡県藤枝市)	2022年11月	売場最新化

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は54,210百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は1,357百万円（前年同期比1.5%減）、経常利益は1,498百万円（前年同期比1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,008百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①小売業

営業収益は53,884百万円（前年同期比3.7%増）となりました。「フード（食品）」部門につきましては、「エスポット（フード）」、「ポテト・マミー」、「業務スーパー」の全ての業態で好調に推移し、生鮮食品、日配食品、加工食品はいずれも前年同期を上回り、前年同期比4.7%増となりました。「ノンフード（非食品）」部門につきましては、HBC（ヘルス&ビューティーケア）商品及びリサイクル事業が前年同期を上回ったものの、前年同期比0.1%減となりました。

営業利益は1,551百万円（前年同期比1.4%増）となりました。これは売上高の増加に伴い売上総利益額が増加したこと等によるものであります。

#### ②不動産賃貸事業

営業収益は326百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は114百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は35,321百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,152百万円増加いたしました。

流動資産は11,395百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,087百万円増加いたしました。これは、災害リスク対策として手許流動性を高める方針としたことにより現金及び預金が2,093百万円増加したほか、売掛金が572百万円、商品が372百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は23,926百万円となり、前連結会計年度末と比較して64百万円増加いたしました。これは、減価償却等により無形固定資産が94百万円減少したものの、新規出店及び改装等により有形固定資産が194百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は17,695百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,242百万円増加いたしました。

流動負債は12,400百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,908百万円増加いたしました。これは、季節要因による仕入高の増加により買掛金が1,032百万円増加したほか、短期借入金が432百万円、流動負債その他に含まれる未払消費税等が163百万円、契約負債が125百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,294百万円となり、前連結会計年度末と比較して334百万円増加いたしました。これは、設備資金等の年度資金調達により長期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は17,626百万円となり、前連結会計年度末と比較して909百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期における通期の業績予想につきましては、2022年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,244,822	3,338,282
売掛金	1,265,341	1,837,598
商品	5,454,845	5,827,281
その他	343,268	392,265
貸倒引当金	△370	△263
流動資産合計	8,307,907	11,395,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,007,391	9,239,032
土地	8,011,350	8,011,350
その他(純額)	1,190,256	1,153,061
有形固定資産合計	18,208,998	18,403,444
無形固定資産	1,085,128	990,374
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,957,612	2,941,012
その他	1,609,969	1,591,830
投資その他の資産合計	4,567,582	4,532,843
固定資産合計	23,861,709	23,926,662
資産合計	32,169,616	35,321,826
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,616,543	6,648,711
短期借入金	1,771,258	2,204,138
未払法人税等	311,312	285,011
賞与引当金	150,733	157,739
役員賞与引当金	5,383	4,576
損害賠償引当金	120,000	120,000
その他	2,517,304	2,980,582
流動負債合計	10,492,535	12,400,758
固定負債		
長期借入金	2,457,145	2,776,325
退職給付に係る負債	689,833	618,307
役員退職慰労引当金	107,160	101,640
資産除去債務	612,536	624,492
その他	1,093,346	1,173,764
固定負債合計	4,960,021	5,294,530
負債合計	15,452,557	17,695,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	14,557,367	15,416,002
自己株式	△446,285	△446,350
株主資本合計	16,393,028	17,251,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351,759	391,033
退職給付に係る調整累計額	△27,729	△16,094
その他の包括利益累計額合計	324,029	374,938
純資産合計	16,717,058	17,626,537
負債純資産合計	32,169,616	35,321,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	51,825,920	53,724,773
売上原価	39,965,865	41,456,631
売上総利益	11,860,055	12,268,142
営業収入		
不動産賃貸収入	486,241	486,169
営業総利益	12,346,297	12,754,312
販売費及び一般管理費	10,967,923	11,396,405
営業利益	1,378,373	1,357,906
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	11,274	12,134
投資有価証券売却益	1,332	15,102
受取手数料	58,119	57,292
リサイクル収入	29,952	33,814
事業譲渡益	—	33,000
その他	32,654	35,236
営業外収益合計	133,344	186,599
営業外費用		
支払利息	13,744	14,369
株主優待費用	12,948	15,186
その他	6,917	16,517
営業外費用合計	33,611	46,073
経常利益	1,478,107	1,498,432
税金等調整前四半期純利益	1,478,107	1,498,432
法人税、住民税及び事業税	191,951	450,845
法人税等調整額	170,360	39,202
法人税等合計	362,311	490,047
四半期純利益	1,115,795	1,008,384
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,115,795	1,008,384



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,115,795	1,008,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141,726	39,273
退職給付に係る調整額	48,493	11,635
その他の包括利益合計	190,219	50,908
四半期包括利益	1,306,015	1,059,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,306,015	1,059,293
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。